

UEC-Z02A評価・開発用ボードセット

# UEC-EV02A-6,16 ¥25,704 (税込)

## 概要

UEC-EV02Aは、カードサイズコンピューターUEC-Z02Aの評価開発用ボードセットです。ICEにダイレクト接続可能な40ピンDIPソケットが用意されているだけでなく、モニタープログラム専用シリアルI/OポートやLEDによるレベルモニター機能、リセットスイッチや各種信号モニター用テスト端子等も装備されていますので、ROMモニターやROMインサーキット方式のICEをご使用になる場合にもたいへん便利です。

UEC-EV02AとUEC-Z02Aはコネクタが共通ですから、開発中はUEC-EV02Aを使用し、組み込み時にUEC-Z02Aと差し替えることができます。なお、UEC-EV02AはUEC-Z02Aと開発用ボードUEC-EV015のセットとなっており、UEC-Z02Aは着脱可能な状態で含まれています。

## 主な特長

### ICEダイレクト接続

Z80CPU用ICEプローブが接続可能なDIPソケットが装備されています。

### モニタープログラム用シリアルI/Oポート

モニタープログラム(別売)を使用してパソコン等に接続できます。

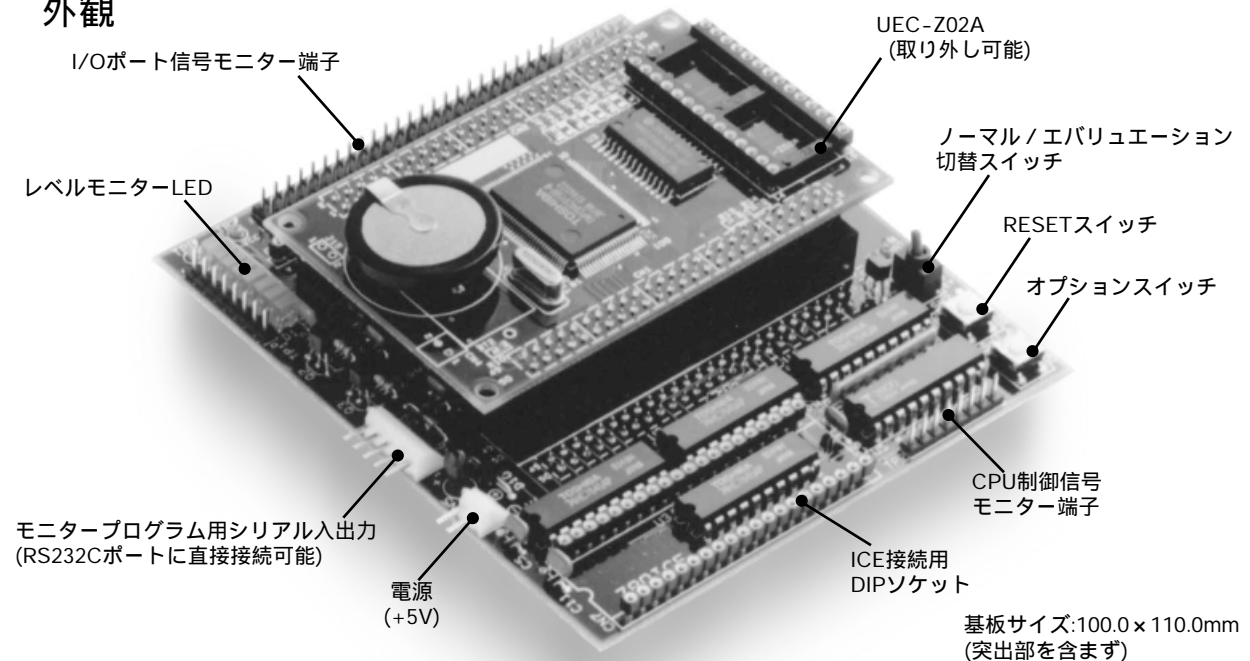
### LEDによるレベルモニター(8ビット)

バッファを通してLEDを駆動しているため動作回路にほとんど負荷となりません。

### 各種信号モニター用テストピン

主要なCPU制御信号とポート信号用にテストピンを用意しています。

## 外観



UEC-EV02Aに含まれているUEC-Z02Aは、取り外して単独で使用できます。開発用ボードのみの販売もごさいます。(開発用ボードUEC-EV015はUEC-Z07と共通です。)

### 安全に関する注意事項



本製品には一般電子機器用(OA機器・通信機器・計測機器・工作機械等)に製造された半導体部品を使用しておりますので、その誤作動や故障が直接生命を脅かしたり、身体・財産等に危害を及ぼす恐れのある装置(医療機器・交通機器・燃焼制御・安全装置等)に組み込んで使用しないでください。

また半導体部品を使用した製品は、外来ノイズやサージにより誤作動したり故障したりする可能性がありますので、ご使用になる場合は万一誤作動、故障した場合においても生命・身体・財産等が侵害されることのないよう、装置としての安全設計(リミットスイッチやヒューズ・ブレーカ等の保護回路の設置、装置の多重化等)に万全を期されますようお願い申し上げます。

技術的なお問い合わせは(技術部直通TEL/FAX)



0120-024768

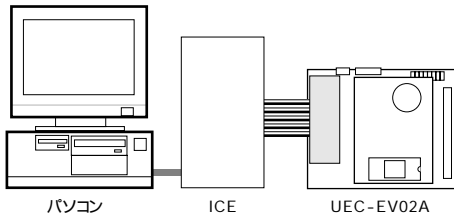


## 梅澤無線電機株式会社

東京営業部 101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-3-14 TEL03-3256-4491 FAX03-3256-4494  
仙台営業所 982-0012 仙台市太白区長町南4丁目25-5 TEL022-304-3880 FAX022-304-3882  
札幌営業所 060-0062 札幌市中央区南2条西7丁目 TEL011-251-2992 FAX011-281-2515

## 開発環境のご提案

### ICEをご使用の場合

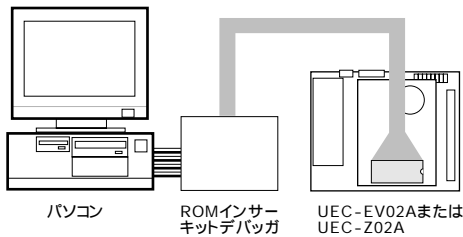


開発に必要なソフトウェア等  
 エディタ アセンブラ Cコンパイラ  
 ICEコントロールソフトウェア

ホストマシン上でアセンブラ・Cコンパイラ等を使用してプログラムを開発し、ICEにダウンロードしてデバッグを進めます。システム全体の価格は高価ですが、ハードウェア・ソフトウェア全般のデバッグに最も強力な開発環境を構成します。ICE本体は短期間のレンタルで使用することもできます。なおUEC-Z02A-16の場合は、システムクロックを8MHzとしてICEとご接続いただけますが、16MHzの場合はいったん8MHzシステムクロックでICEを使用して開発し、その後クロック速度等を変更する部分をプログラムに付加してROM化後、ICEを切り離れた状態で動作を確認する必要があります。

UEC-Z02A-16にICEを接続して開発する場合は、外部からのWAIT入力は使用できませんのでご注意ください。

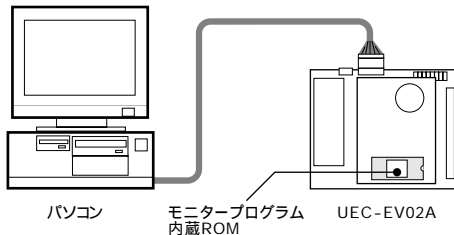
### ROMインサートキットデバッガをご使用の場合



開発に必要なソフトウェア等  
 エディタ アセンブラ Cコンパイラ  
 デバッガコントロールソフトウェア(デバッガに付属)

ターゲットのROMソケットを通してデバッグを行うタイプのICEはコストパフォーマンスにすぐれ、シンボリックデバッグやソースレベルデバッグが低価格で実現可能な他、コントロールソフトのみの追加購入で86系や68K系のデバッガとしても使用できます。この種のICEが動作するためにはCPUやメモリが正常に機能している必要があるため、周辺回路のバスインターフェースに異常がありCPUが動作しない場合はデバッグできませんので注意が必要です。デバッガの動作はシステムクロックに依存せず、エミュレーションメモリのアクセスタイムに依存するため、UEC-Z02A-16を16MHzシステムクロックで動作させる場合にも使用できます。

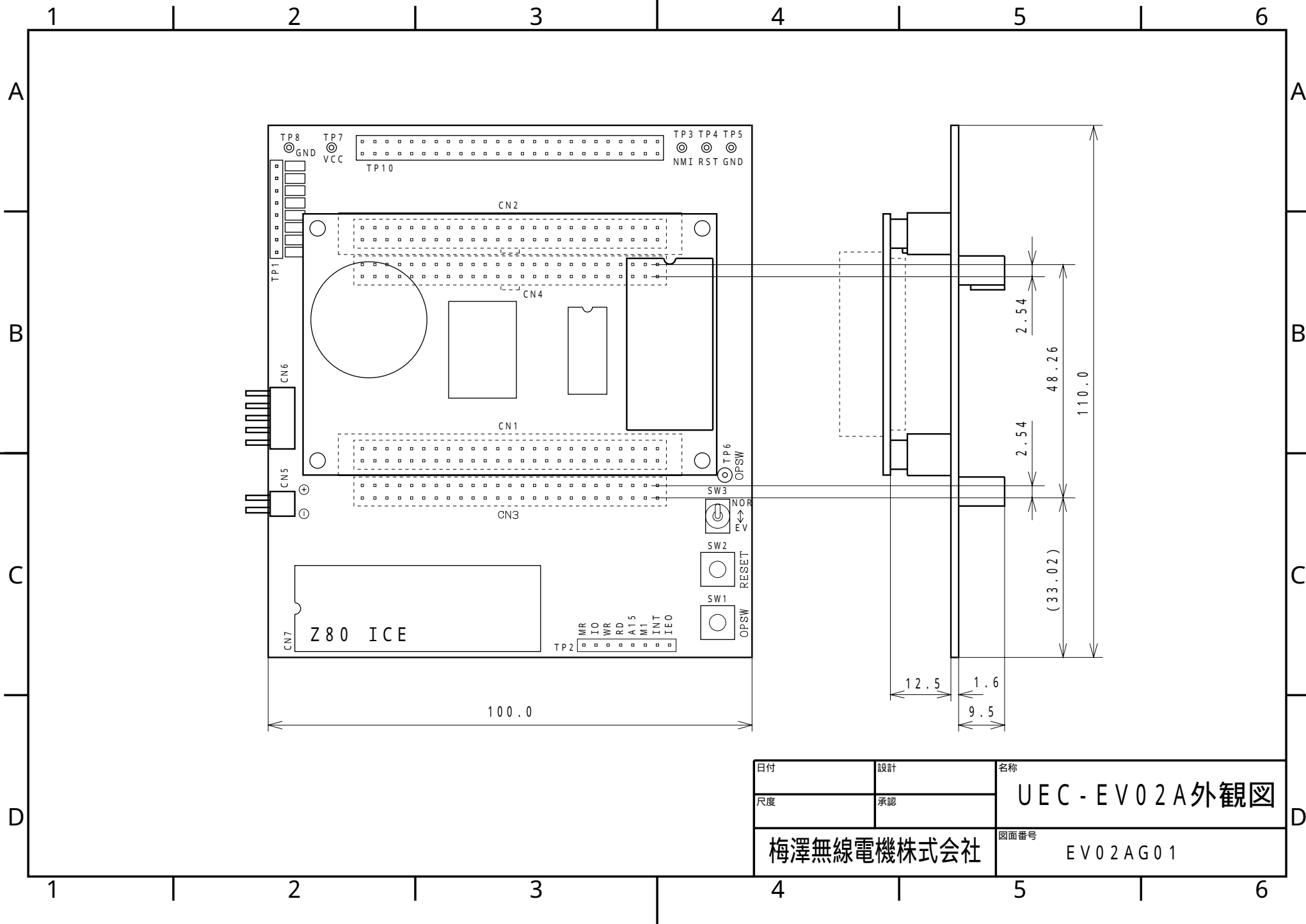
### ROMモニタープログラムをご使用の場合



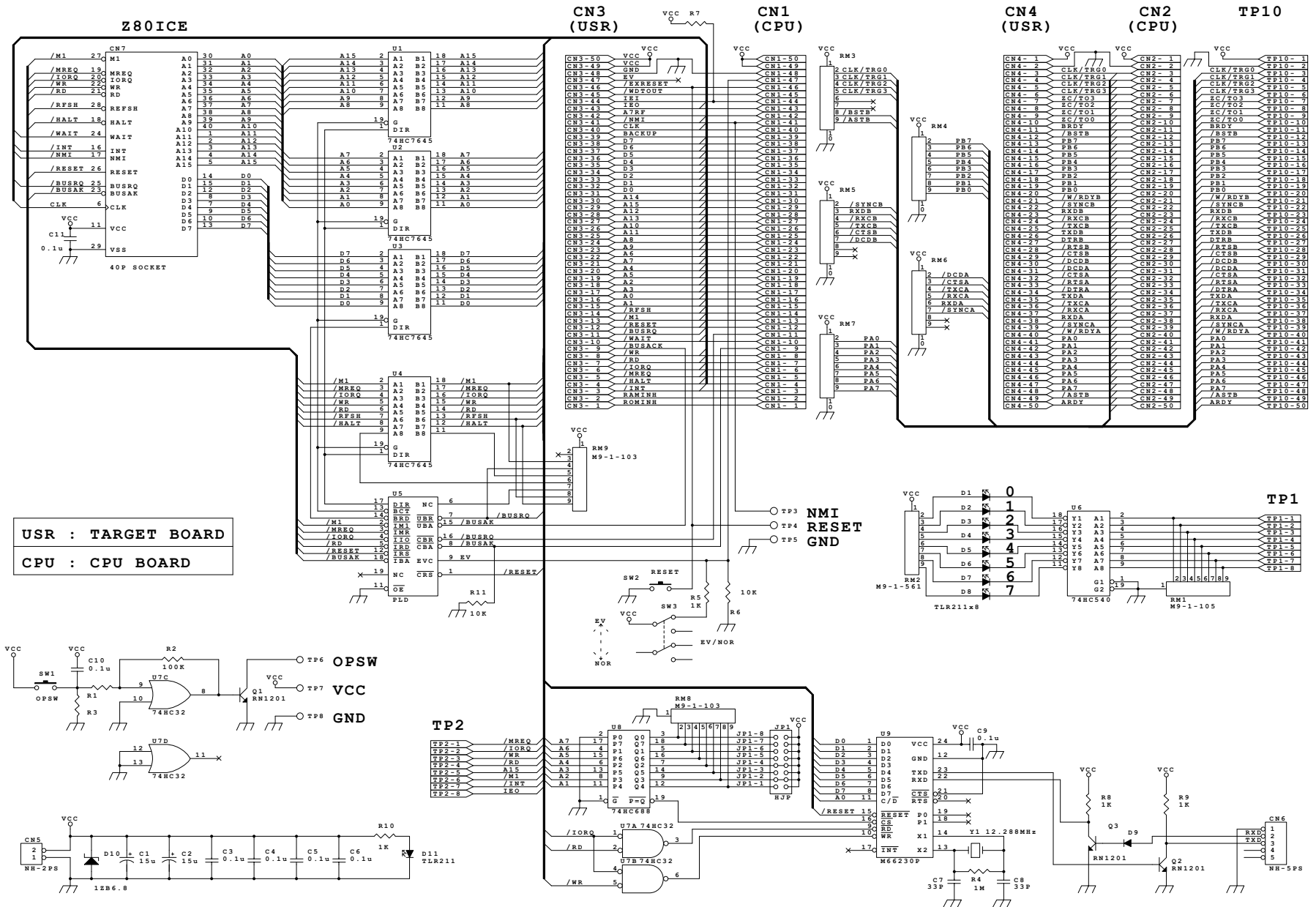
開発に必要なソフトウェア等  
 エディタ アセンブラ ターミナルソフト(パソコン通信用のもの)  
 UEC-MONZ80(ROMモニタープログラム)

MONZ80(ROMモニタープログラム)をUEC-EV02A上で動作させ、パソコン等をターミナルとしてRS-232Cで接続します。ホストパソコン上で開発したプログラムをRAM上に転送し、デバッグを進めます。シンボリックデバッグはサポートされていないため大規模なプログラムの開発には不向きですが、簡単な実験等には小回りのきく便利な開発ツールです。モニタープログラムはUEC-Z02A-16を16MHzシステムクロックで動作させる場合にも使用できます。

いずれの場合も開発時にはUEC-EV02Aを使用し、ROM化が完了した時点でUEC-Z02Aとダイレクトに差替えることができます。



日付	設計	名称
尺度	承認	UEC-EV02A外觀図
梅澤無線電機株式会社		図面番号 EV02AG01



**USR : TARGET BOARD**  
**CPU : CPU BOARD**

All registers without value indication are 10K ohm